



平成 25 年 5 月 17 日

各 位

会 社 名 セブンシーズホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 藤堂 裕隆  
(コード番号 3750 東証第二部)  
問合せ先 経営企画部長 関 裕司  
(TEL. 03-5771-8531)

営業外収益、特別損失、繰延税金資産の計上及び業績予想と実績値との差異  
に関するお知らせ

当社は、営業外収益、特別損失、繰延税金資産を計上することになりましたので、その概要をお知らせするとともに、最近の業績動向等を踏まえ、平成 24 年 9 月 24 日に公表しました連結業績予想と、本日公表いたしました平成 25 年 3 月期業績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績値との差異（平成 24 年 4 月 1 日 ～ 平成 25 年 3 月 31 日）  
(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 24 年 9 月 24 日発表)	2,500	0	30	250
今 回 実 績 (B)	2,316	△114	△61	152
増 減 額 (B-A)	△184	△114	△91	△98
増 減 率 (%)	△7.4%	—	—	△39.2%
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	2,908	△26	△77	△119

【差異発生理由】

売上高は前回の業績予想との差異はそれほどありませんが、営業利益につきましては、平成 24 年 5 月より事業開始いたしましたサービサー事業におきまして、平成 25 年 3 月期中に回収を見込んでいた保有債権の一部が、債務者との交渉長期化等の要因により、平成 25 年 4 月以降の回収となったため、その分の回収益の実現が遅れ、営業損失 114 百万円となりました。

なお、同事業におきまして柱となる金融機関からの債権の取得は順調に進んでおり、今回回収がずれ込んだ債権につきましても、その価値は維持されておりますので、平成 25 年 4 月以降において債権回収により利益に貢献すると見込んでおります。

また、上述の営業損失計上により、経常利益が 91 百万円ほど前回予想を下回りまして、経常損失 61 百万円、当期純利益については、98 百万円ほど前回予想を下回りまして、当期純利益 152 百万円となりました。

## 2. 営業外収益の計上

### (1) 貸倒引当金戻入

平成 24 年 5 月 24 日に開示いたしました貸付債権回収に伴う貸倒引当金戻入計上（35 百万円）に加えて、メディア&マーケティング事業において貸倒実績率減少に伴い貸倒引当金戻入 17 百万円を計上した結果、平成 25 年 3 月期において貸倒引当金戻入 57 百万円を計上いたします。

### (2) 返品債権特別勘定戻入

メディア&マーケティング事業において取次業者に委託する出版物の減少に伴い、返品債権特別勘定引当金戻入額 63 百万円を計上いたします。

## 3. 特別損失の計上

メディア&マーケティング事業における雑誌及び書籍発行业務に関して、出版コンサルティング事業、雑誌代理販売営業、広告代理店業務は従来通り継続して行うものの、コンビニエンスストア向け開発商品を除いて自社発行の雑誌及び書籍発行业務からは撤退することを決定いたしました。これに伴い、当社子会社である株式会社インターナショナル・ラグジュアリー・メディアが保有する在庫出版物に対して、棚卸資産評価損 62 百万円を計上いたします。

## 4. 繰延税金資産の計上

最近の業績動向等を踏まえ、当社子会社において今後課税所得が見込める状況になったことにより、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、回収可能性のある部分について繰延税金資産 35 百万円を計上いたします。その結果、法人税等調整額は 31 百万円となり、法人税等調整額考慮後の税金費用が同額減少いたします。

以 上

### 【業績予想に関する注意事項】

当業績予想は、発表日現在入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後の様々な要因により、計画数値と異なる可能性があることを予めご承知おきください。